

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		9-	5
事業名	子ども支援事業	会計	款	項	目
		一般	3	2	1
政策	2 次世代を育むために	課名	子ども家庭課		
施策	2-1 子育て支援の充実	係名	子ども総合相談室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 東員町住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	児童やその保護者との接触機会が多い小中保幼の先生方との連携により、見落としのないよう児童虐待の疑いのある児童を保護して身の安全を守る。
事業内容	要保護児童が増加する中で表面化しにくい児童虐待の案件を発見し、いち早く対応できるように小中学校の現場や関係各課と連携し、子どもたちを守るべき立場にあるすべての方に常に問題意識をもって事案に対応いただくための意識向上をねらいとして、県のアドバイザー派遣事業を活用した研修会を実施していく。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B		22,663		31,581		26,625		
財源 内訳	直接事業費 A	7,291		13,443		8,487		
	うち一般財源	18,268		9,947		5,493		
人件費(千円) B		15,372		18,138		18,138		
内訳	一般職員(人・千円)	2.07	13662	2.41	15906	2.41	15906	
	臨時職員(人・千円)	0.95	1710	1.24	2232	1.24	2232	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	要対協に連携する関係機関を増やし、虐待防止を強化していく。	③取組の課題	子ども家庭センター設置に向けたアセスメントとプランニング。職員の専門性の強化と維持。虐待の再発防止や予防の取り組みの実施。
②R4年度に実施した取り組み	新たに、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、町社会福祉協議会と連携を開始した。また、関係機関に向けた研修会を開催した。	④今後の改善計画	全ての子育て家庭に対する切れ目ない支援を提供できる体制の整備。スーパーバイザー派遣の活用。